相談事例②

「勉強がわからなくて、落ち着いて教室にいることができない」
そんなとき、スクールカウンセラーはどんなサポートをしてくれるの？

**●対象児童生徒：小学４年生　女子**

勉強がわからなくて、教室にいても授業についていけず、友だちにしゃべりかける・ちょっかいを出す、教室を離れるなど落ち着かない様子。

**●スクールカウンセラーの取り組みと児童の変化**

１０月

本人についての情報を集め、担任の先生と情報を共有する。

○スクールカウンセラーは、教室の中に入り、本人と関わりながら学習面（苦手なところ、得意なところなど）についての情報を探る。
○学習面での得意、苦手さについて情報を得る。
・口頭だけの指示や説明では理解しにくい。
・言葉で自分の考えや気持ちを表現することが難しい。
・絵や写真などを使うと理解しやすい。
○担任の先生とスクールカウンセラーで得られた情報を共有し、連携を行う。

１１月

スクールカウンセラーによる本人への支援開始。

○スクールカウンセラーは、本人への支援方法を検討し、担任の先生に提案する。
○実際の授業の中で支援を行う。
→授業の流れや活動内容をメモで簡潔にし、やることを分かりやすくする。
→短時間でも取り組めるように、活動内容を小分けにする。
→文章を書く時のポイントやお手本を示す。

３月

引き続き、本人への支援を行う。

○本人は、メモを見せてやることを示すと短時間ではあるものの少し学習に取り組める場面が見られる。
○わずかでも取り組めた時には、本人を褒めたり、認めたりする声かけを行い、取り組める時間が続くように支援を行った。

●保護者のみなさま、学校の先生方へ

スクールカウンセラーは、実際にお子さんの様子を見てどんな困り感や苦手さを持っているかをお伝えするだけではなく、そのお子さんにどう関わればいいかなど支援方法も先生方と一緒に考え、提案させていただいております。

授業中、なかなか勉強に取り組めず、おしゃべりをしたり、教室を離れてしまったりなど落ち着いて教室にいられない…。こんなお子さんはいらっしゃいませんか？ぜひ、スクールカウンセラーにお気軽にご相談ください。